

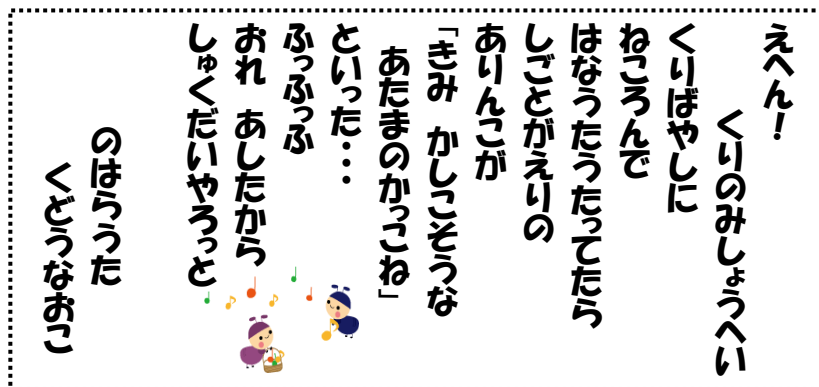
「えへん!」となる評言をめざして

	やる気になる(活動前)	粘り強く取り組む(活動中)	充実感・達成感(活動後)
GOOD 「ひょうげん」	・できるよ!姿勢がいいね ・授業準備ができているね ・前の学習を使って考えているね ・君たちにしかできない ・聞き方、雰囲気をつくっている子を認める(態度を価値づける) ・ゴールを見えるようにする ・レベルの高い特別問題なんだけどね	・きれいに書けているね ・先生も思いつかなかったわあ ・後で発表してみんなに伝えてよ ・素敵なノートだから紹介させて ・この調子・成長が見えるなあ ・大切なことを言ってくれたけど、同じことを言える人? ・この考えは思いつかなかったなあ	・できたじゃん・すごい ・できるようになったね ・がんばったなあ〜 ・できると思っていたよ ・ありがとう・さすがだなあ ・君たちに頼んでよかった ・〇〇という風に考えてくれてうれしい ・みんなのおかげで〇〇できたよ
BAD 「ひょうげん」	・そんなようでは、できないわあ ・こんなこともできないの? ・〇年生じゃないんだから ・忘れ物してたらできないなあ	・何言っているかわからん ・みんなやっているんだから、やりなさい ・〇年生なんだから	・時間が無駄になったね ・結局あそび時間だったね ・このままではできなくなるよ ・今日「は」できたね

ひょうげん部では、上記の3つの場面に分けて「GOOD ひょうげん」と「BAD ひょうげん」の具体を出していきました。低学年では子どもたちの実際の言動についての評言が多く、中高学年では心情についての評言が多く、子どもたちの発達段階に応じて先生方の評言が変わっていることが発見でした。

他の先生方の評言について知ること、子どもたちへの見方が広がると共に、「この言葉、言われるとうれしいだろうなあ。自分も使おう」と評言の幅が広がっていきました。

右の詩は、校内の掲示板上で紹介されていた詩です。この詩のように、子どもたちが「えへん!」とうれしくなるような評言、その子の「昨日より1mmでも伸びた事実」を認められる教師になりたいですね。



9月24日(水)は3年2組研究授業～探究部～

24日(水)は、3年2組(榎田学級)で研究授業です。学年部で補教体制を整えていただき、学びを深めていければと思います。3年生は府中町のよさについて調べ、そのよさを多くの人に知っていただくためには、どうすればよいか子どもたちと考えています。授業では、「府中町のよさが伝わる発表の仕方」について考えを深めていきます。

タイムテーブル

5時間目(13:10～13:55)※3年2組教室 「ふしぎ発見!府中町」

協議会(14:30～15:25)※3年2組教室

【協議の柱】

☆授業や単元デザインが、子どもたちにとって自分事の学びになっていたか

☆自分の学級の実践にいかしたいのは、どのような点か